

平成27年度

主要な施策の成果に関する説明書

鳥栖・三養基西部環境施設組合

## 目 次

### 1 決算の概要

(1) 総括	1
(2) 収支の状況	1
(3) 歳入の状況	1
(4) 歳出の状況	3
(5) 組合債残高の状況	3

### 2 主要事業の成果

(1) 搬入ごみについて	4
(2) ごみ処理の流れについて	6
(3) 環境対策について	7
(4) 啓発事業について	8
(5) 次期ごみ処理施設建設事業について	10

# 1 決算の概要

## (1) 総括

歳入決算は、収入済額が20億9,008万6,670円で、予算現額に対して517万3,670円の増（収入率100.2%）、前年度に対しては、94万364円、0.04%の減となった。

歳出決算は、支出済額20億4,421万3,074円で、予算現額に対して4,069万9,926円の減（執行率98.0%）、前年度に対しては、833万1,981円、0.41%の減となった。

前年度決算額との比較では、歳入の主な減要因は、溶融資源化センターの手数料収入の減及び有価資源物売払収入の減であり、歳出の主な減要因は、衛生費の溶融炉運転管理委託料の減である。

## (2) 収支の状況

歳入総額20億9,008万6,670円、歳出総額20億4,421万3,074円、歳入歳出差引額4,587万3,596円、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支額も同額となっている。

単年度収支は、前年度実質収支額3,848万1,979円（前年度剰余金）を差し引くと739万1,617円となった。

### ○歳入歳出収支状況

(単位:千円)

	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度繰越財源	実質収支
平成27年度	2,090,087	2,044,213	45,874	0	45,874
平成26年度	2,091,027	2,052,545	38,482	0	38,482
増 減	▲ 940	▲ 8,332	7,392	0	7,392

## (3) 歳入の状況

(単位:千円)

区 分	平成27年度		平成26年度		増減 (A)-(B) (C)	対前年度 増減率(%) (C)/(B)
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
分担金及び負担金	1,823,858	87.3%	1,804,122	86.3%	19,736	1.1%
使用料及び手数料	147,360	7.1%	162,319	7.8%	▲14,959	▲9.2%
財産収入	376	0.0%	375	0.0%	1	0.3%
繰入金	0	0.0%	0	0.0%	0	—
繰越金	38,482	1.8%	37,881	1.8%	601	1.6%
諸収入	80,011	3.8%	86,330	4.1%	▲6,319	▲7.3%
歳入合計	2,090,087	100.0%	2,091,027	100.0%	▲ 940	▲ 0.0%

## ○構成市町別負担金一覧

(単位:千円)

区 分		建設負担金 (公債費)	建設負担金 (施設建設費)	所在地交付金	管理運営費	計・割合	
鳥栖市	H27	400,518	17,498	14,591	735,848	1,168,455	64.1%
	H26	400,517	—	14,629	740,756	1,155,902	64.1%
	増減	1	17,498	▲38	▲4,908	12,553	0.0%
上峰町	H27	69,032	3,141	1,542	116,586	190,301	10.4%
	H26	69,032	—	1,456	115,223	185,711	10.3%
	増減	0	3,141	86	1,363	4,590	0.1%
みやき町	H27	220,852	7,208	3,867	233,175	465,102	25.5%
	H26	220,852	—	3,915	237,742	462,509	25.6%
	増減	0	7,208	▲48	▲4,567	2,593	▲0.1%
合 計	H27	690,402	27,847	20,000	1,085,609	1,823,858	100%
	H26	690,401	—	20,000	1,093,721	1,804,122	100%
	増減	1	27,847	0	▲8,112	19,736	
合計の割合	H27	38%	2%	1%	59%	100%	
	H26	38%	—	1%	61%	100%	
	増減	0%	2%	0%	▲2%		

## ○資源化物の売払い額

(単位:千円)

	溶融スラ グメタル	金属類	プラス チック類	古紙類	びん類	その他	合 計
平成 27 年度	751	19,232	2,342	18,050	439	1,285	42,099
平成 26 年度	770	27,011	3,516	20,973	460	1,113	53,843
増 減	▲19	▲7,779	▲1,174	▲2,923	▲21	172	▲11,744

## (4) 歳出の状況

(単位:千円)

区 分	平成 27 年度		平成 26 年度		増減 (A) - (B) (C)	対前年度 増減率 (%) (C) / (B)
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
議会費	312	0.0%	280	0.0%	32	11.4%
総務費	139,529	6.8%	131,376	6.4%	8,153	6.2%
衛生費	1,213,972	59.4%	1,230,489	60.0%	▲16,517	▲1.3%
公債費	690,400	33.8%	690,400	33.6%	0	0.0%
予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
歳入合計	2,044,213	100.0%	2,052,545	100.0%	▲8,332	▲0.4%

## (5) 組合債残高の状況

(単位:千円)

区 分	平成 26 年度末 現在高 (A)	平成 27 年度中増減		平成 27 年度末 現在高 (A) + (B) - (C)
		発行額 (B)	償還額 (C)	
1 普通債	2,443,552	0	659,014	1,784,538
(1) ごみ処理施設建設事業	2,443,552	0	659,014	1,784,538
合 計	2,443,552	0	659,014	1,784,538

## ○借入先別残高の内訳

(単位:千円)

借入先	借入日	利率 %	借入額	平成 27 年度末 現在高	償還終了 年月日
郵便貯金資金	H15.3.31	0.8	1,965,400	340,781	H30.3.31
郵便貯金資金	H15.9.30	1.6	1,606,600	360,503	H30.9.30
郵便貯金資金	H16.5.31	1.5	652,400	174,227	H31.3.31
簡易生命保険資金	H16.5.31	1.5	145,400	38,830	H31.3.31
財政融資資金	H16.5.18	1.5	3,258,500	870,197	H31.3.25
合 計			7,628,300	1,784,538	

## 2 主要事業の成果

### (1) 搬入ごみについて

平成27年度の搬入ごみ量は、総計3万4,125トンで、前年度比較851トン(2.43%)の減少となった。種類別にみると、可燃ごみは1,058トン(3.62%)の減、資源ごみも85トン(3.82%)の減となり、粗大・不燃ごみは292トン(8.22%)の増となった。

また、搬入ごみ量の構成市町の割合は、鳥栖市71.6%、上峰町7.9%、みやき町20.5%となっている。

ごみ搬入を1人1日当たりに換算した原単位量では、鳥栖市が928グラム、上峰町が778グラム、みやき町が747グラムとなっており、事業所ごみの多い鳥栖市が大きい傾向にはあるが、前年度比較では、鳥栖市の減少率3.83%がきわだっている。

次に、搬入されたごみを構成する種類について平成27年度4回実施(6月、8月、11月1月)した分析結果では、可燃ごみのうち、紙類、厨芥類(生ごみ)が68.5%を占め、全体の46%は水分であった。また、紙類のうち、資源化回収の対象となっている紙類(新聞、ダンボール、雑誌、広告)が15%含まれ、重量にすると4,221トンとなる。

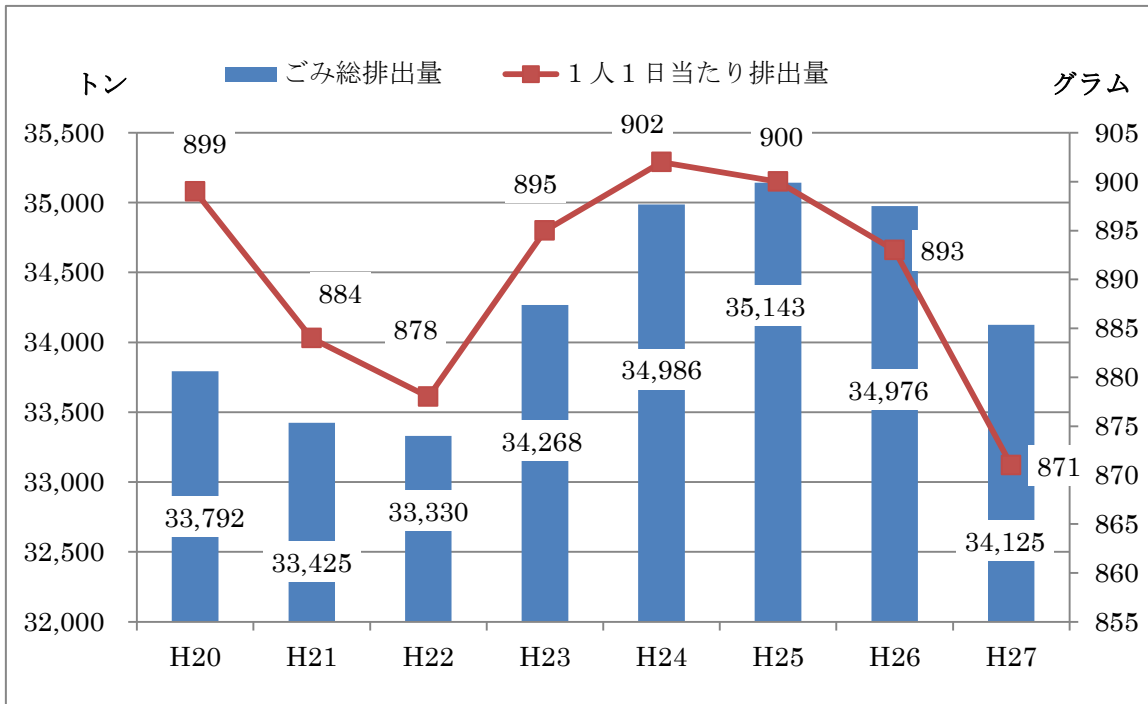
### ○ごみ搬入量

(単位:トン)

		可燃ごみ	粗大・不燃ごみ	資源ごみ	合計	人口
鳥 栖 市	平成27年度	20,894.37	2,106.52	1,447.66	24,448.55	72,191
	平成26年度	21,895.67	1,951.65	1,510.06	25,357.38	71,959
	増減	▲1,001.30	154.87	▲62.40	▲908.83	232
上 峰 町	平成27年度	2,004.38	479.48	213.20	2,697.06	9,498
	平成26年度	2,091.90	449.57	224.10	2,765.57	9,571
	増減	▲87.52	29.91	▲10.90	▲68.51	▲73
み や き 町	平成27年度	5,240.57	1,263.86	474.98	6,979.41	25,612
	平成26年度	5,209.98	1,156.26	486.58	6,852.82	25,735
	増減	30.59	107.60	▲11.60	126.59	▲123
合 計	平成27年度	28,139.32	3,849.86	2,135.84	34,125.02	107,301
	平成26年度	29,197.55	3,557.48	2,220.74	34,975.77	107,265
	増減	▲1,058.23	292.38	▲84.90	▲850.75	36

人口は10月1日現在の外国人を含む数値

○ごみ搬入総量の推移



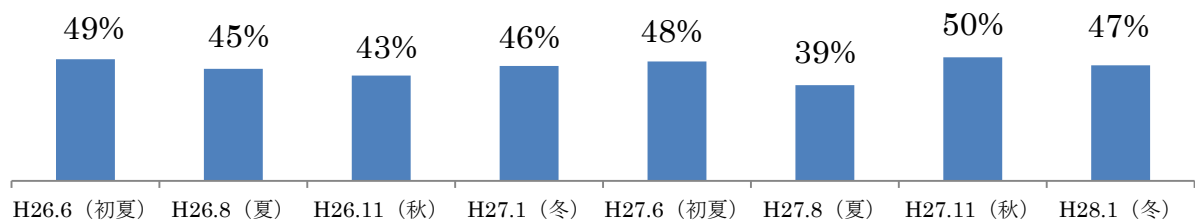
\*1人1日当たりのごみ量は、搬入ごみ量（事業系含む）を人口で割り1/365を乗じた数値

○可燃ごみの組成分析結果（湿ベース）

分類	割合	収集量(トン)
紙類	39.7%	11,171.31
厨芥類	28.8%	8,104.12
草木類	7.1%	1,997.89
合成樹脂類	17.1%	4,811.82
不燃物	2.2%	619.07
その他	5.1%	1,435.11
合計	100.0%	28,139.32

燃やせるごみの約4割が紙類となっている。紙類は、新聞、雑誌、段ボールなど、分別すれば資源として有効活用ができ、約15%程度のごみの減量化が可能と思われる。また、厨芥類の割合が約3割を占め、水分を多く含んでいる。排出前の水切りの徹底がごみの減量につながる。

○可燃ごみの水分量



(2) ごみ処理の流れについて

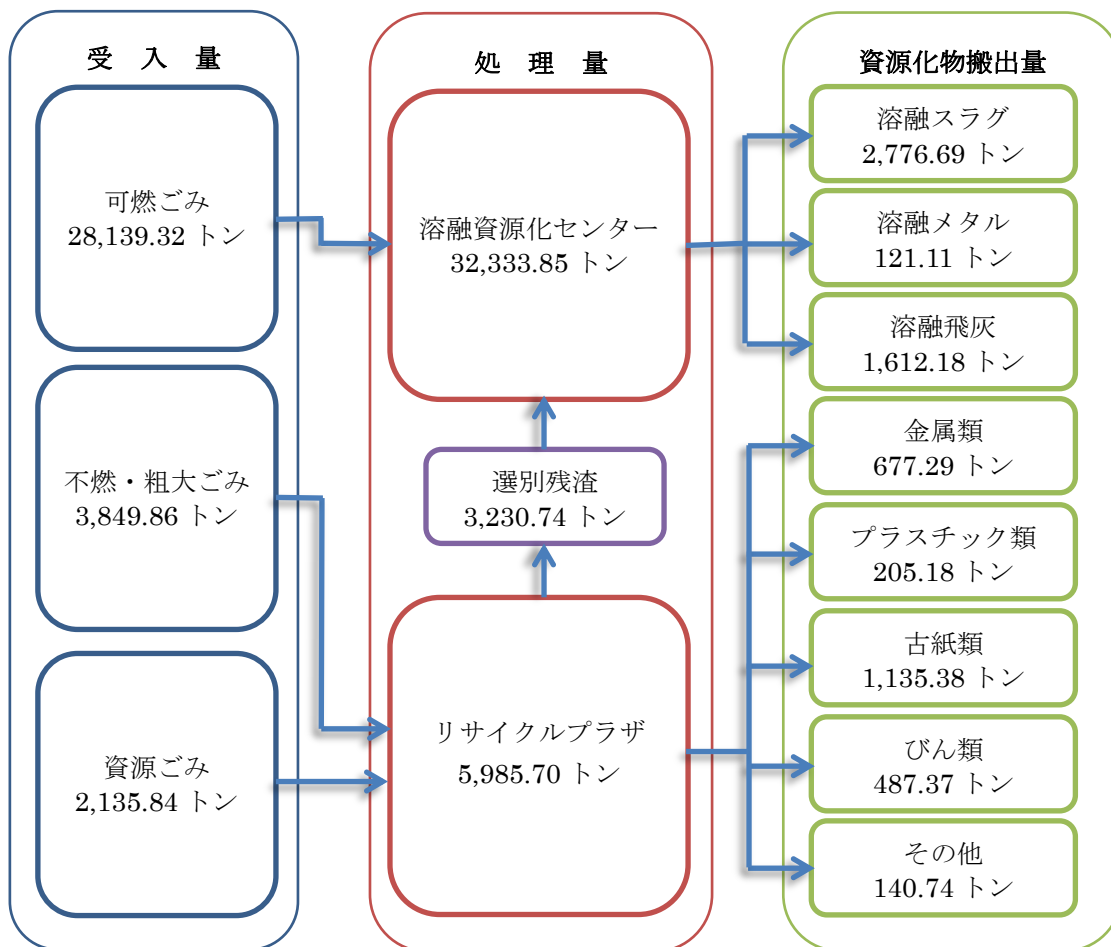
・可燃ごみの処理（溶融資源化センター）

可燃ごみ、選別残渣を合わせて 32,333.85 トンを溶融施設で溶融処理し、発生する溶融スラグ 2,776.69 トン（回収率 8.59%）は、コンクリート製品（土木資材）やアスファルト舗装の材料として、溶融メタル 121.11 トン（回収率 0.37%）は、金属の回収材料としてそれぞれ再資源化に向け搬出した。また、集塵設備等で捕捉された溶融飛灰（ばいじん）は、1,612.18 トン（発生率 4.99%）で、外部委託（山元還元、セメント原料化）により再資源化された。

・不燃・粗大ごみ、資源ごみの処理（リサイクルプラザ）

粗大ごみ 3,139.88 トン、不燃ごみ 709.88 トン及び資源ごみ 2,135.84 トンを破碎、選別、圧縮処理し、搬入量 5,985.70 トンのうち 2,645.96 トン（回収率 44.2%）を資源化物として搬出した。また平成 25 年度から施行された小型家電リサイクル法による資源化物として回収した量は、137.85 トンとなった。

○平成 27 年度ごみ処理フロー





(3) 環境対策について

溶融資源化センター溶融炉の排ガス（ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、一酸化炭素、ダイオキシン類換算値）を連続測定し、結果を施設内環境モニターに表示した。また月単位の測定結果を当組合のホームページで公開した。定期測定による排ガス分析は、7月と12月に実施し、周辺環境調査は、5月、7月、10月、1月に実施した。なお、環境調査等の測定結果を5月と11月に開催した環境保全協定連絡協議会で報告した。

○排ガス測定結果（大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法による測定）

区 分	測定日		排出基準 (協定値)
	H27. 7. 23	H27. 12. 25	
ばいじん (g/m <sup>3</sup> N)	0.0030	0.0015	0.01
硫黄酸化物(ppm)	18	16	50
窒素酸化物(ppm)	3 未満	36	100
塩化水素(ppm)	2.5	1.0	50
一酸化炭素(ppm)	15	8	日平均 30 最大 100
ダイオキシン類(ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.000040	0.000032	0.1

\* n g (ナノグラム) : 1グラムの10億分の1

○周辺環境調査結果

区 分	測定項目	測定結果	測定日
大気	環境基準 8 項目	全てに満足	H28. 1. 18~25
地下水	環境基準 28 項目	全てに満足	H27. 7. 16 H28. 1. 19
河川水	環境基準 27 項目	全てに満足	H27. 10. 16
土壌	環境基準 26 項目	全てに満足	H27. 10. 16

○周辺環境ダイオキシン類調査結果

区 分	測定結果	基準値	測定日
大気 (p g -TEQ/m <sup>3</sup> )	0.012、0.014	0.6	H28. 1. 19~25
底質土壌 (p g -TEQ/g)	63、15	150	H27. 7. 30 H27. 10. 16
一般土壌 (p g -TEQ/g)	1.9	1,000	H27. 7. 30
水質 (p g -TEQ/l)	0.15 0.48 (0.31 平均値)	1 (年間平均値)	H27. 7. 30 H27. 10. 16

\* p g (ピコグラム) : 1グラムの1兆分の1

\*底質土壌(調整池底土) 一般土壌(施設内緑地)

(4) 啓発事業について

ごみ減量化、リサイクル推進の啓発として、毎月第3日曜日に、エコライフ講座を開催した。また同時に再生家具、再生自転車の展示販売を行う「もったいなか市」、一般公募による不用品バザー「エコマーケット」と環境美化を目的に「菊づくり教室」を開催した。

また、7月に開催した「環境フェア」では、ごみ減量化講演会の開催、夏の省エネ実践講座の開講、おもちゃ病院や虫よけスプレー作りなどの催し物も行い、約400人の来場があった。

視察研修では、児童、生徒を対象に15回、一般を対象に21回の環境学習を実施し、ごみ減量化やリサイクル推進の啓発を行った。

また、組合ホームページを活用し、生ごみの水切りなどを推進する「3切り運動」の啓発を行った。

○エコライフ講座開催内容

開催月	内 容
4月	久留米絣を使って小物作り
5月	傘布からリフォーム
6月	布ぞうり作り
9月	EMの活用法（EM液配布）
10月	帯を使って小物作り
11月	布粘着テープからバック作り
12月	門松作り
2月	アクリル毛糸でエコたわし作り
3月	地産のそば粉を使ってエコクッキング

参加者数延74人

○菊づくり教室



開催回数 19回  
参加者 34人

○リサイクルプラザ利用状況

視察研修		エコマーケット来場者		研修室利用		宿泊研修	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
36	1,550	12	2,290	38	972	11	377

○環境フェア（7月19日）開催状況

・ごみ減量化講演会



「生ごみリサイクルで野菜も人も元気になる方法」



生ごみを碎き、EMボカシ・土と混ぜる

・おもちゃ病院



孫のおもちゃの相談？

・エコマーケット



出店状況

・もったいなか市



陳列状況

・アロマを使った虫よけスプレー作り



調合の説明を聞いて…

(5) 次期ごみ処理施設建設事業について

1市2町のごみ処理基本計画については、平成20年3月に循環型社会形成に向けて、一般廃棄物の排出抑制及び再資源化のための施策、廃棄物の適正処理等のあり方等について策定しているが、その後ごみ排出量が大きく変動していることや、現施設の更新を検討する時期になっていることなどから、計画目標年度を平成42年度とした新たなごみ処理基本計画を策定した。また、1市2町の計画を包括したものとして、組合版のごみ処理基本計画についても併せて策定を行った。

また、次期ごみ処理施設建設に向け、国の交付金事業を活用するため、このごみ処理基本計画をもとに、循環型社会形成推進地域計画を策定し、平成28年1月6日に環境省へ提出した。